

市の概要

市の概要

1. 位置

北	緯	35° 43'
東	経	139° 20'
標高	最高	143 m (武蔵野台一丁目付近)
	最低	104 m (福生第五小学校付近)

2. 面積

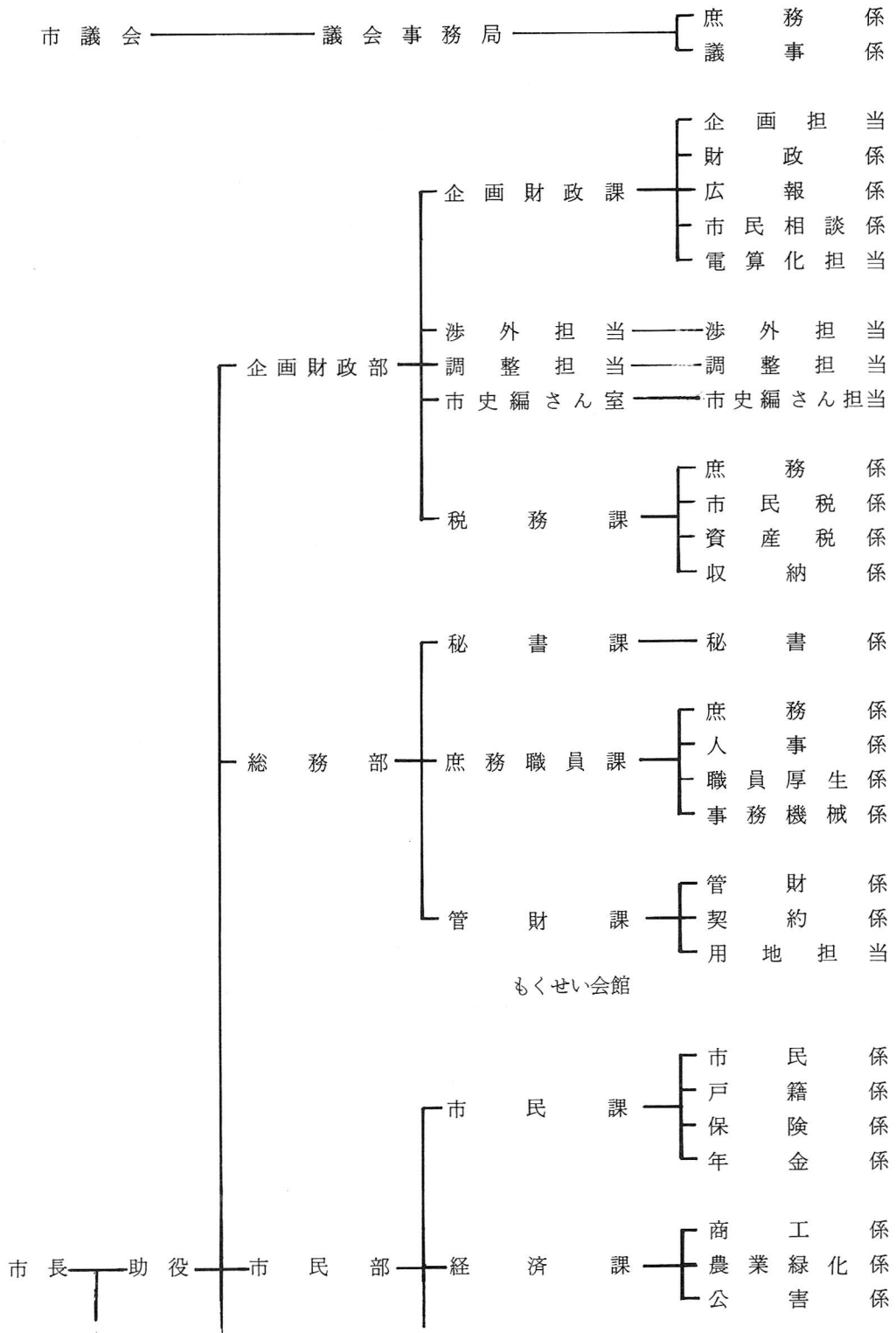
東	西	3.6 Km
南	北	4.5 Km
面	積	10.41 km ²

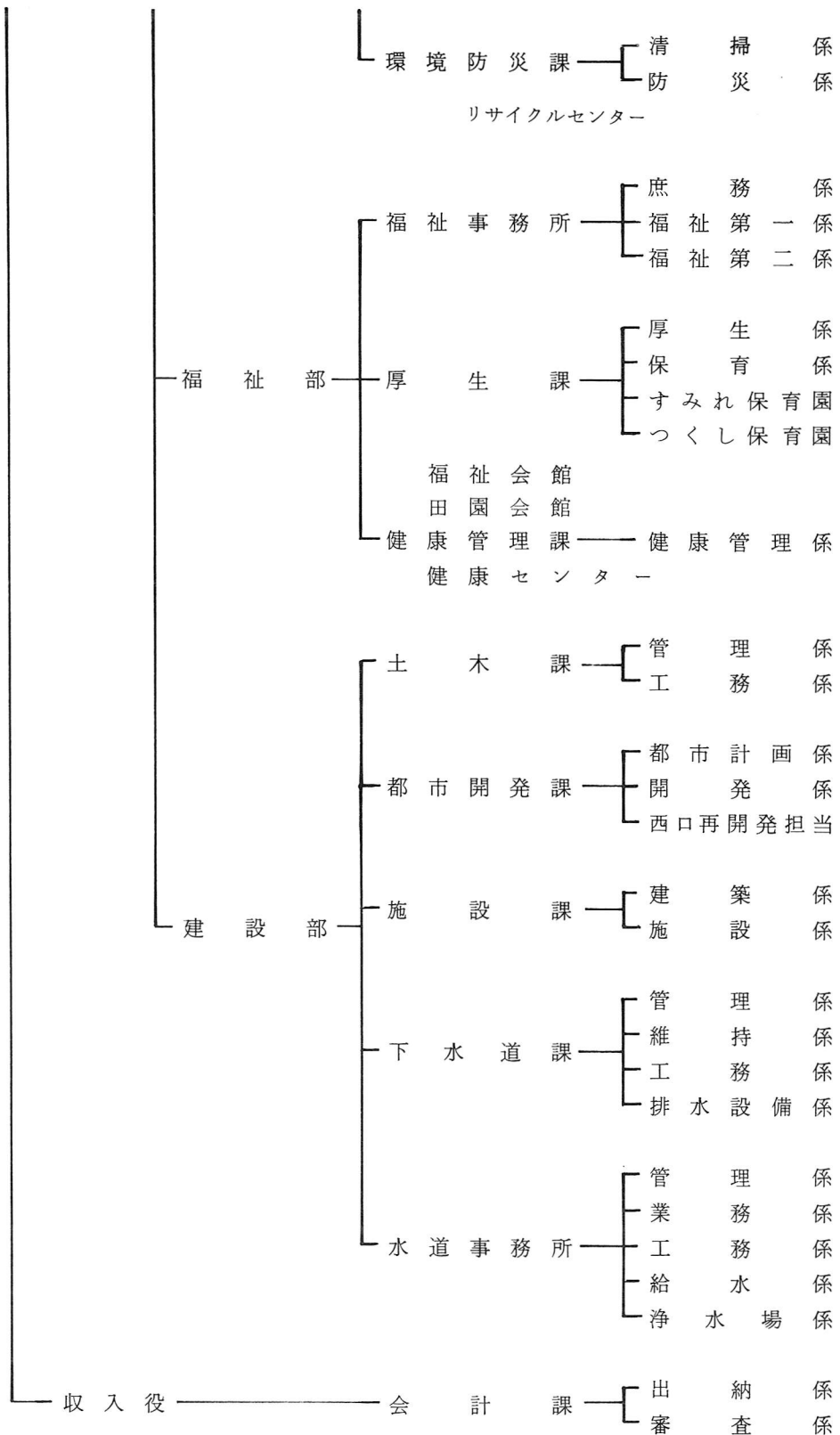
3. 人口

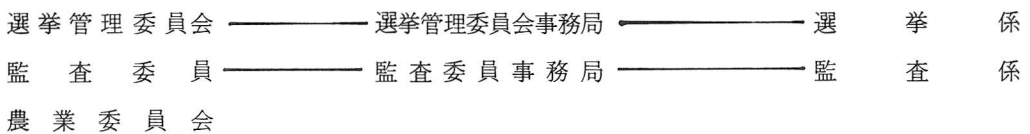
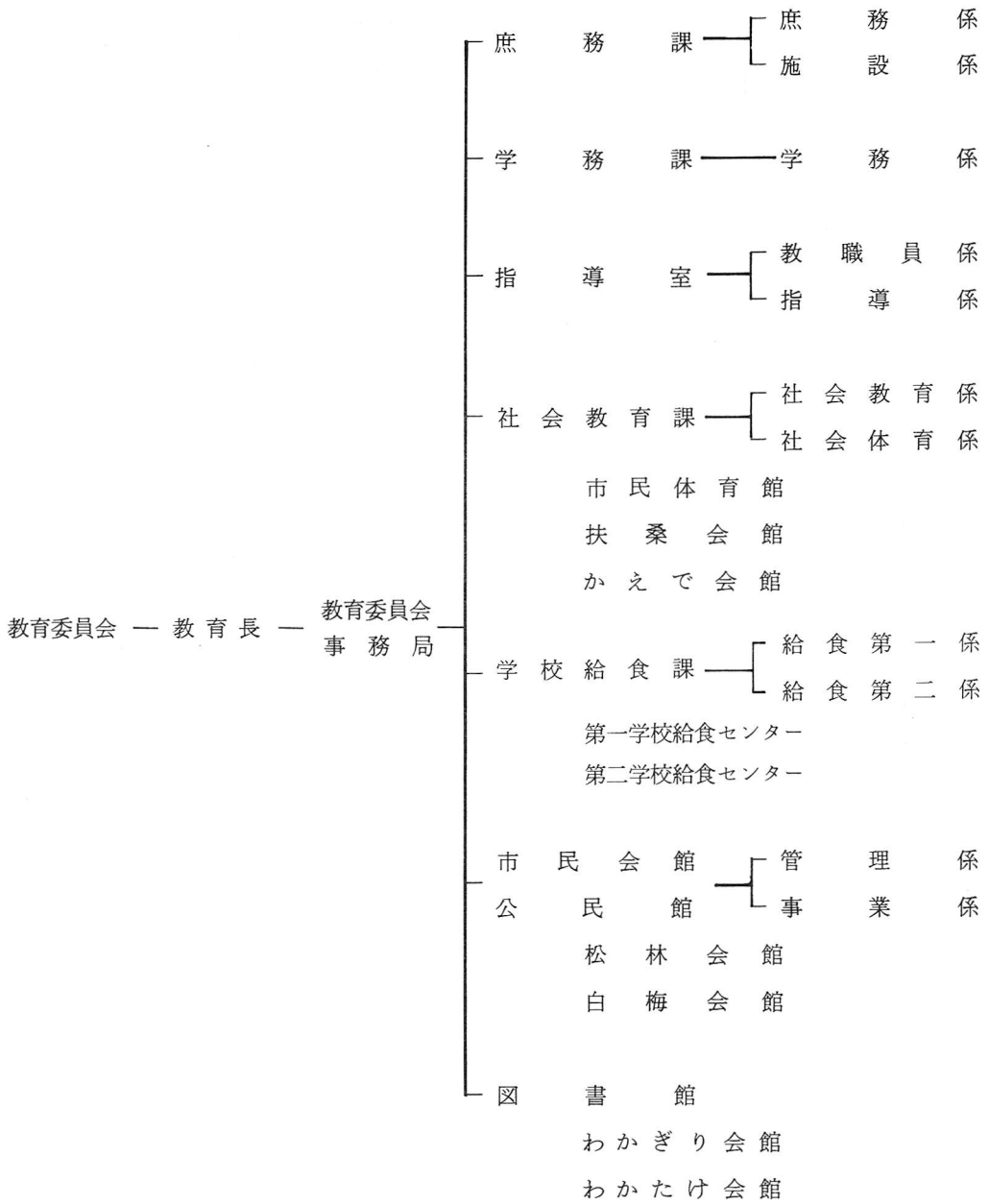
6.1.1.1 現在

人口	総数	52,017 人
	男	26,063 人
	女	25,954 人
世帯数	18,723 世帯	

4. 福生市役所機構図







昭和60年度施政方針

大変貴重なお時間をお許し頂きまして、誠にありがとうございます。

昭和60年第1回市議会定例会の開催に当たり、昭和60年度の市政運営につきまして、私の所信と施策の大綱について申し述べさせて頂きたいと存じます。

御承知の通り、本年は、昭和が還暦を迎えると共に、市制施行15周年に当たる記念すべき年でもございます。

市制施行15周年を迎える今日、当市は、おかげさまで先人の御尽力と御参集の議員各位、並びに市民各位の深い御理解と御協力により「活力ある市民のまち福生市」を目ざして、着実に発展してまいりました。

これまで、それぞれの場面で市発展のために御尽力を賜りました皆様に、改めて深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

さて、現代は、経済的には安定期を迎え、人口面では出生率の低下や高齢化、また、技術面では高度技術革新、社会面では情報化等、各分野での変化が急速に進んでいる時代といわれます。

それに伴って、人々の意識も物から心へ、ハードからソフトへ、人工から自然へ、量から質へと様々に変化しつつあるといわれておりますが、この様な時代の流れの中にあつて、福生市といったしましても、国・都と共に行財政のあり方を見直し、その実行を通じて市政の充実に努力いたしてまいります。

さて、当市は、昭和52年に策定いたしました福生市総合計画に基づき、まちづくりを進めてきたところでございますが、幸いなことに多くの皆様の御協力によって、現行基本計画の施設面での整備は、急速に進んでまいりました。究極のところ、よき街は、より豊かな人間性を持つ市民によって作られるものである以上、これら整備された良い条件を生かした福祉や教育は、尽きることのない課題でございます。勿論、物的面での整備も時代と共に、まだまだ必要でございます。

従つて私は、昭和60年度施策の第一に、既に計画化されている施設面での整備を推し進めると共に、第二には、非施設面での施策の充実に図り、福生市民憲章にも謳われているいきいきとした市民をつくるための活力あるまちづくりを目ざしたいと思ひます。

第三に、自主財源の乏しい当市は、今後も御承知の様に、国や都の影響を受けつつ、地方行政改革の本番を迎えた時期に、健全な行財政運営を進めなければならないと痛感いたしております。今後も財源確保には最大限の努力をしてみたいと思ひますが、同時に、財源の重点的、効率的配分に意を用いなければならないと考え、行財政の全般的な見直しを図つてまいりたいと存じます。

第四には、以上の諸点を考え合わせ、基本構想にある都市像をより豊かに達成するため、当面昭和65年以降の第二次総合計画策定までの間、基本計画の見直しをさせて頂きたいと考えてお

ります。

第五に、これらの仕事を進めていくためには、議員各位を始め、市民の皆様の御理解と御協力が何よりも大切でございます。従いまして、皆様の御協力を頂きながら活力ある市民のまちづくりを進めてまいりたいと思います。

なお、これらの施策遂行の上で避けて通ることのできない基地問題につきましては、今まで通り、基地及び関係機関と綿密な連絡を図りながら、引き続き、安全性の確保と周辺整備に努力してまいります。

さて、後程御提案申し上げます昭和60年度当初予算案につきましては、以上のことを踏まえ編成いたしました。その概要について、御説明申し上げます。

一般会計の総額は、112億4,506万9千円で、前年度と比較いたしますと、4.4パーセントの減であります。これは、国民年金印紙代を基金で処理する事務改善のためで、この分を除く比較では、0.2パーセントの微増と相成ります。

また、一般会計、特別会計、受託水道事業会計を合わせますと、158億4,735万8千円で、前年度比2.3パーセントの減となります。これも国民年金印紙代を除くと、1.1パーセントの増と相成ります。

さて、御心配頂きました歳入面での国庫支出金でございますが、約1億円が減額いたしました。が、地方交付税、都支出金の増額等もあり、約8百万円程度の減額と現段階では見込んでおります。

歳出面では、投資的経費が、仮称八小用地買収及び市営競技場等の事業量の減によって、約6億円減少したことに伴う経費の多くを、非施設事業等にふり向け、施策の充実を図ってまいります。

次に、施策の内、新規事業を中心に申し述べますと、健康で幸せな市民生活を守る施策といたしまして、自主防災組織の育成を含め、防災対策を計画化し、より推進するために、防災計画を改定し、また、消防自動車の買い替えを引き続き進めてまいります。

次に、交通安全のより一層の推進のために、交通安全対策協議会を新たに設置し、交通安全の対策や計画をより明確にすると共に、駐輪対策といたしまして、牛浜駅東口自転車置場の整備事業等を進めてまいります。

また、環境衛生面では、ゴミ収集所看板をすべて取り替えると共に、資源再利用実施団体奨励報償金を増額し、ゴミ減量対策を一層強めてまいりたいと思います。

健康医療面では、肺がん検診、風しん抗体検査等を新たに実施する他、乳がん及び胃がん検診、健康教育等の拡大、老健法に基づく一般健康診査通知を対象者全員に出す等、事業内容のレベルアップを図ってまいりたいと思います。